

2022年度 大阪成蹊大学 卒業生の声（卒業後6ヵ月アンケートより）

■ 2022年3月卒業生への卒業後6ヵ月アンケート

本学では、卒業後6ヵ月を経過した学生に、「社会人生活の感想」「本学の学びで身に付けた力」「学生時代にもっと学んでおいた方がよかったこと」等についてアンケートをおこなっている。

2022年3月卒業生へのアンケートでは、461名（回答率83.2%）の卒業生から多くの声が寄せられた。

【2022年3月卒業生の声(抜粋)】

設問	卒業生の声	入社業界・職種
『社会人生活の感想』	①慣れないことが多く、お客様商売なので100人100通りの対応が難しく悩むこともある。しかし、一緒に働く人との関係性を築くことで、周囲の人に助けってもらいながら頑張っている。	小売業・営業職
	②毎日覚えることや、やる事が多く、責任も増えて大変な事も多い。しかし、学生の時とは違った楽しみや誰かのために働けることにやりがいを持って働いている。	商社・総合職
	③定時で帰宅できても疲労があり、学生時代と比べて時間が足りないが、学生時代のアルバイトと違い、より仕事のやりがいを感じるようになった。	金融業・総合職
	④能力の高い同期の環境に身を置きついていくことに必死。しかし、大学で学んだ専門知識は自分の強みとして会社でも活かせており、必要とされていると感じるため、やりがいがある。	小売業・販売職
	⑤慣れないことや思っていたことと違うことも多いが、それでも続けられているのは就きたかった職種に就職できた点が大きなモチベーションになっているからだと感じる。	建築業・デザイナー
	⑥先輩の保育者の言葉かけや行動の姿を見て学んだり、指導をいただいたりとたくさんの学びがあり、これからも保育者として経験を積んでいきたい。	幼稚園・幼稚園教員
	⑦実際の現場では、大学時のボランティア活動や実習とは違った緊張感があり、より責任を感じている。大学での専門的な学びが活かされることも多く、やりがいも感じられています。	小学校教員
本学の学びで身に付けた力	<ul style="list-style-type: none"> ・人の前で話す機会が多かった為、物怖じせず客先訪問ができた。また、ゼミやグループワークの経験も活かされている。 ・外国人のお客様が多く、コミュニケーションや英語を使う機会が学んでいる。 ・Photoshop、Illustrator、After Effects、色彩検定などの専門知識や操作を習得でき、入社後すぐ専門業務を任されている。 ・実習で培った指導案の作成や子どもをよく見る視点、作成した記録が業務に直結して役立っている。 	他
学生時代に『もっと学んでおいた方がよかったこと』	<ul style="list-style-type: none"> ・一般常識や言葉遣いなどの社会人マナー。また、ExcelやWord、PCのタイピングなどの実践的な知識やスキル。 ・英語や外国語。海外からのお客様に対応することが多々ある為。 ・専門的な資格。簿記やFPの2級以上や宅地建物取引士、給与関係等、より業務に近い専門的な知識や資格の回答があった。 ・実践での保育技術は多くの配慮が必要であり、実習時以外にもワークショップ等でレパートリーを増やしたかった。 	他